



周南公立大学

SHUNAN UNIVERSITY

〒745-8566

山口県周南市学園台 843-4-2

TEL 0834-28-0411 (代)

FAX 0834-28-8790

プレスリリース

令和 7 年 10 月 15 日発信

報道関係 各位

周南公立大学、山口県立高校の「探究学習」を伴走支援 — 地域貢献度全国 1 位の実績を活かし、未来人材育成に貢献 —

周南公立大学では高大連携の一環として、「総合的な探究の時間」の推進に向けて高校教員への支援・研修などを行っています。山口県教育委員会が令和 5 年に開始した「やまぐち型社会連携教育推進事業」において社会と連携・協働したカリキュラムの策定が 3 か年計画で進められている中で、複数の県立高校から依頼を受け、実施しているものです。

【本件のポイント】

- ・単なる講義や講演ではなく、伴走型・共同設計型の支援が新しい
→カリキュラム策定・見直しのプロセスへの継続的な関与を行ったり、実施されている探究学習の授業を視察して助言を行ったりという活動をしています。
- ・大学の教員、専門家の知識を高校現場に活用
→本学の教職課程の教員、PBL 推進の専門家が助言を行っています。
- ・「社会に開かれた教育課程」の実現
→大学が関わることで、社会・世界へ視野を広げたカリキュラムを展開することが可能となります。

【直近の活動内容】

以下の日程での活動が決定しています。ぜひご取材いただけますと幸いです。

- ・10 月 20 日(月) 岩国高校坂上分校:カリキュラム・マップの作成支援のための打ち合わせ
- ・12 月 2 日(火) 華陵高校:業務改善のアイデア出しのワークショップ
- ・12 月 4 日(木) 田部高校:カリキュラム・マップの作成支援のための打ち合わせ

単発取材だけでなく、継続的にご取材いただくことで、高校生や教育現場の変化を追っていただけます。取材を希望される場合は、事前に広報室までご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ>

取組の内容について：周南公立大学 総合教育部 大坂 遊 准教授

E-mail：osaka@shunan-u.ac.jp

取材・報道について：公立大学法人周南公立大学 経営企画部経営企画課広報室

TEL：0834-28-6880 E-mail：koho@shunan-u.ac.jp

高校における「総合的な探究の時間」を取り巻く背景について

「総合的な探究の時間」は、2022 年度から高校で必修化された科目で、生徒が自ら設定した課題を、教科や科目の枠を超えて探究し、解決へと導く学習活動です。しかし、各校での実施方法やカリキュラム設計においては、地域間・学校間における知見の格差や、それによる高校教員の負担が課題となっています。山口県教育委員会では平成 30 年から「やまぐち次世代型教育推進事業」を立ち上げ、各学校において教育課程に基づく教育活動の質を向上させるため、指導方法や評価方法の開発など、実践的な研究が行われてきました。また令和 5 年度からは、広く社会と連携しながら豊かな学びの実現を推進するための「やまぐち型社会連携教育事業」が実施され、各高校では探究活動における様々な取り組みがなされています。

【現場における課題】

- ・総合的な学習の時間と各教科等との関連が不十分な学校がある
- ・学校により指導方法の工夫や校内体制の整備等に格差がある
- ・探究のプロセスの中で「整理・分析」、「まとめ・表現」に対する取組が不十分である
- ・実社会・実生活にかかる課題をより積極的に取り扱うことが必要（社会に開かれた教育課程の実現）

【本学がかかわることの意義】

- ・高校生にとって：探究テーマの設定や研究の深め方に多角的な視点を得られる
- ・高校教員にとって：カリキュラム改善や指導方法に専門的助言を受けられる
- ・大学にとって：専門人材を地域に還元し、未来人材育成に直接貢献できる

この活動は、本学が評価されている「地域貢献度全国 1 位（日本経済新聞社 定員 2,000 名未満の大学）」の実績を裏付ける取り組みでもあり、教育界の課題解決に資する重要なモデルとなります。

【今後の展望】

周南公立大学では、今後も各高校との連携を継続し、探究学習の充実に向けて支援充実させていきます。また、現在の取り組みをモデルとして県内の高校へ支援を広げることで、地域に根差した人材育成に貢献してまいります。



＜過去の取り組みの様子＞